

作成日 2006年9月28日

作成者 ○○○

確認日 2006年12月10日

確認者 ○○○

(1) 建物概要

建物名称	京都造形芸術大学望天館2号建替	敷地面積	65,892 m ²	
建物用途	学校	建築面積	1,053 m ²	
建設地	京都府京都市左京区北白川生	延床面積	4,975 m ²	
気候区分	地域区分 I	階数	地上4階、地下2階、塔屋1階	
地域・地区	第一種中高層住専、市街化区域、	構造	RC造、一部S造、SRC造	
竣工年	2008年2月 予定	平均居住人員	600 人	
		年間使用時間	2,920 時間/年	

(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

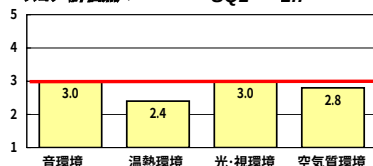
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

Q-1 室内環境

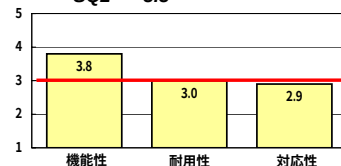
スコア(評価値):

SQ1 = 2.7



Q-2 サービス性能

SQ2 = 3.3



SQ = 3.5

Q-3 室外環境 (敷地内)

SQ3 = 4.8

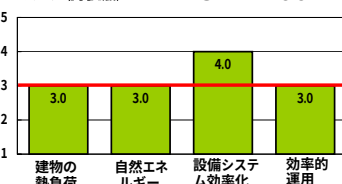


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

LR-1 エネルギー

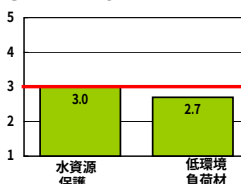
スコア(評価値):

SLR1 = 3.3



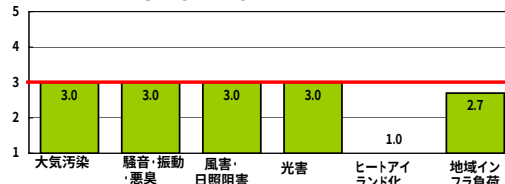
LR-2 資源・マテリアル

SLR2 = 2.8



LR-3 敷地外環境

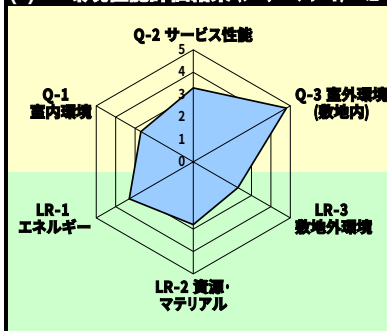
SLR3 = 2.3



SLR = 2.8

(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1



(2-3) 環境性能効率

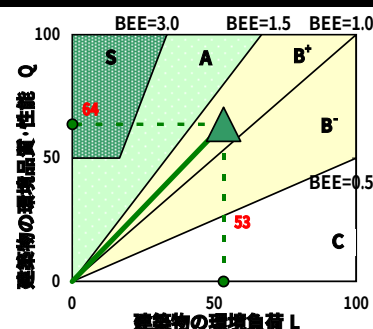
BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{63.6}{53.2} = 1.1$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²							
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²							
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category

BEE: Building Environmental Efficiency

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1, Q-2, Q-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。

注3: Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。